



おおにしだより

第43号

平成27年 2月10日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

先生は、授業を熱心に行い、わからないところをていねいに教えてくれる。

前号の「保護者アンケート」に続き、「児童アンケート」の集計結果をご報告いたします。

本校の児童一人一人が、毎日の生活を振り返って、アンケートに答えてくれました。学校では、今回の結果をもとに全教職員で話し合い共通理解を図りました。

今後は、本校児童のよいところは一層伸ばし、直すべきところは、より一層の改善を図るとともに、次年度の学校運営に役立ててまいりたいと考えます。

【児童アンケート集計結果】

番号	項 目	結果(%)	保護者結果
1	先生は、授業を熱心に行い、わからないところをていねいに教えてくれる。	99↑	
2	先生は、わたしたちのことを考え、声をかけてくれたり話を聞いてくれたりする。	97→	
3	先生は、いじめがないようにしっかり指導してくれる。	97→	86↓
4	先生は、よいところを認め、やっではいけないことをしっかり指導してくれる。	99→	91→
5	わたしは、学校が楽しい。	92→	
6	わたしは、清掃をがんばっている。	91→	
7	わたしは、あいさつをしている。	86↓	81↓
8	わたしは、きちんとした言葉づかいや返事をしている。	78↓	73→
9	わたしは、当番や係の仕事をがんばったり、きまりを守ったりしている。	84↓	83→
10	わたしは、思いやりの心もち、いじめのないように努力している。	85↓	94→
11	わたしは、給食を好き嫌いなく食べている。	82↑	72↑
12	わたしは、業間や休み時間などによく運動をしている。	70↓	79→
13	わたしは、けがをしないように気をつけたり、交通ルールを守ったりしている。	91→	
14	わたしは、授業中進んで手をあげ、自分の考えを大きな声で発表している。	60↓	64→
15	わたしは、先生や友だちの話をよく聞き、前向きに学習している。	84→	
16	わたしは、授業がよくわかって勉強が楽しい。	88↑	
17	わたしは、毎日家庭学習をしている。	74↑	59↓
18	わたしは、進んで読書をしている。	75→	
19	わたしは、地域や家の人、お年寄りのみなさんとの活動が楽しい。	92→	95→
20	わたしは、なかよしグループやなかよしタイムの活動が楽しい。	93→	96→

◎ 結果は4段階の「1とても思う」と「2少し思う」の計(%)を示してあります。昨年度との比較で3%以上の差が見られるものは、↑↓等で示しました。また、参考までに保護者評価結果も載せました。なお、斜線のところは該当する項目がないものです。

《アンケート結果から》

- ①最も評価の高かった項目は、1「先生は、授業を熱心に行い、ていねいに教えてくれる」でした。教師がわかる授業を目指し、学習指導方法の工夫改善に努めていることが伺われます。
- ②2「先生は、わたしたちのことを考え、声をかけてくれたり話を聞いてくれたりする」や、3「いじめがないようにしっかり指導してくれる」、4「よいところを認め、やっではいけないことをしっかり指導してくれる」も、昨年度同様に高い評価となりました。児童と教師の良好な関係が伺われます。教師が児童の悩みに耳を傾けたり、教育相談等で親身になって相談に応じたりする努力を続けてきた成果ではないかと考えます。
- ③5「学校が楽しい」、20「なかよしグループやなかよしタイムの活動が楽しい」と感じている児童が大変多く、生き生きと学校生活を送っていることがわかります。
- ④7「あいさつをしている」では、昨年度より3ポイント低い結果となりました。同様に、保護者アンケート結果でも昨年度より3ポイント低くなってしまいました。学校では、『最高のあいさつ』（「大きい声で」「自分から進んで」「相手の目をきちんと見て」「笑顔で」）ができるように指導しております。また、学校生活の中だけでなく、地域でのあいさつもきちんとできるように、指導をしております。ご家庭でも、ぜひ、お子さんを励ましていただければ幸いです。
- ⑤11「給食を好き嫌いなく食べている」では、昨年度より4ポイント増えました。食育や給食指導の成果と考えます。
- ⑥12「業間や休み時間などによく運動をしている」は、昨年度より4ポイント低い評価でした。これは、教職員の評価と共通しています。今後も、体育の時間だけでなく、業間や休み時間を有効に活用し、児童が積極的に運動に親しむことができるように指導してまいりたいと考えます。

- ⑦ 1 4 「進んで手をあげ、自分の考えを発表」は、最も低い評価でした。発表することに自信をもたせることや、何でも話することができる学級づくりも重要であると考えます。本校の学校課題研究として表現力の育成に取り組んでいますが、今後も、さらに力を入れて指導していきたいと考えます。
- ⑧ 1 7 「家庭学習をする」では、昨年度より4ポイント高くなりました。また、「とても思う」と答えた児童が昨年度より9ポイントほど増えて46%でした。少しずつではありますが、指導の成果が出ていると思われます。一方、保護者アンケート結果では、最も低い評価となり、児童の意見と大きく食い違いました。家庭学習の習慣化については、学校でも指導をしていますが、ご家庭でも、もう一度、話し合っていたいただければ幸いです。

大きな成果をあげ、学校評議員会が終了！！

学校関係者評価を参考に、改善に努めてまいります。

学校評議員会は、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開するため、保護者や地域の方々の意見を幅広く校長が聞くためのものです。本年度は、学校評議員会を5回開催し、テーマに基づいて話し合いを行いました。毎回、貴重なご意見やご助言をたくさんいただくことができ、会の目的を十分に達成することができました。

学校評議員の皆様のご支援に深く感謝いたします。一年間、本当にありがとうございました。

- ☆ 富田 カツ (民生委員)
- ☆ 戸井田光江 (学校支援ボランティア地域コーディネーター)
- ☆ 畠山ゆかり (元PTA会長)
- ☆ 佐藤 賢二 (富田第7自治会代表)
- ☆ 山田 勝三 (西山田第3自治会長) 【敬称略】

第5回学校評議員会 平成27年1月21日(水) 10:30~12:00

◎授業参観 ◎学校関係者評価 ◎本年度の反省と次年度の課題

今回は、教職員による自己評価結果及び保護者・児童アンケート結果をもとに、「学校関係者評価」(学校評議員・PTA代表)を行い様々なご意見をいただきました。その主なものをご紹介します。

1 教職員による学校評価結果に対する意見

- ・高学年の子が進んであいさつをすると、低学年の子はマネをできるようになります。あいさはコミュニケーションの基本ですから、徹底して「あいさつ運動」をやってみてはどうかと思います。
- ・「自分の思いや考えを表現する」ための学習としては、どんな内容でもよいから、児童に1~3分間程度プレゼンする時間を与えてはどうかと思います。訓練することが大切です。
- ・評価が低いのは、基本的な生活習慣など家庭が大きく関わっている項目になっています。先生方から、「これは家庭でも」と伝えてください。
- ・体力の向上は、ぜひ力を入れてください。小学生の頃についての体力は、一生ものだと思います。
- ・これからも、いじめや人権関連の問題には、しっかりと取り組んでいってください。

2 情報収集のための保護者・児童アンケート結果に対する意見

- ・低学年のうちに、人が嫌がること、やってはいけないことをしっかり教えることが大切だと思います。低学年の子が高学年の子のまねをしてそのまま成長すると、人が嫌がることや、やってはいけないことを平然とやってしまうようになってしまうからです。
- ・人の話をよく聞くということは、大人になって社会生活を送る上で、とても大切になってきます。信頼関係が醸成でき、自分の意見を述べるときに、よく聞いてもらえるようになります。人の意見をよく聞いて、それに対して何か意見を言うといった学習を取り入れてはどうかと思います。
- ・比較的评价が低かった項目は、「言葉づかい」「好き嫌い」「家庭学習」でした。これらは、学校だけで改善するのは無理なことで、家庭教育の改善も非常に重要だと思います。
- ・放課後教室の希望が多いようであれば、先生方の負担が増えすぎない程度に実施することを検討してもよいと思います。
- ・学校からの情報発信があり、子どもたちの様子がよく分かります。
- ・登下校時の指導(特に、交通量の多い箇所の下校指導)をよろしくをお願いします。

3 学校経営全般に対する意見

- ・学校経営方針については、検証と反省を加えながら完遂していただきたいと思います。
- ・児童をよい方向に導くために、学校と保護者、関係機関が、いかに連携していくか。そのための施策を講じて進めていっていただきたいと思います。
- ・教職員の方々は、業務に追われ、子どもたちと関わる時間が減ってしまっていると思いますが、「子どもを見る」ということを一番に考えていただきたいと思います。
- ・児童、教職員ともに評価が低かった「考えや思いの表現」は、大人になっても大切なことです。この評価が高くなれば、学校・職場の楽しさが増すと思います。難しい問題だと思いますが、努力していただけたらと思います。
- ・学力の差があまり出ないようにお願いします。先生方の連携、個別でのプリント課題、放課後教室の実施等、検討してみるとよいかもしれません。



避難訓練